

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

日本三祇園の1つと伝わる「穴喰八坂神社」

●あわっ子文化大使リポーター  
海陽町立海陽中学校 三浦美貴



徳島県の最南端、海陽町。この町には日本三祇園の1つと伝わる、穴喰八坂神社があります。日本三祇園とは、三大祇園のように祭りなどが大きいことではなく、特に古い祇園のことをいいます。その1つが全国祇園2,300社の総本社である京都八坂神社、2つめが祇園の伝説「蘇民将来」の起源とされる広島県鞆の浦の沼名前神社、そして3つめがその「蘇民将来」に登場する南の海のモデルである穴喰八坂神社です。



穴喰八坂神社

この3社には昔から交流があったようで、1277年に広島県の沼名前神社と共に京都八坂神社を修繕するよう命じられた手紙が残っていることが伝わっています。室町時代にも海部城主が三祇園についての手紙を京都八坂神社へ送っています。この海陽町は古くから海運の拠点があり、全国各地にその痕跡を残しています。

徳島県の最南端にある日本三祇園と伝わるこの神社、皆さんもぜひ穴喰八坂神社を訪れてみてください。

※蘇民将来 = 日本各地に伝わる説話、およびそれを起源とする民間信仰

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。  
グローバル・文化教育課 ☎088-621-3054 FAX088-621-2882

そこに人がいるから、伝統文化は生き続ける

●県立川島中学校 久米 悠矢さん

自分の知っている「あわ文化」の知識をもっと広げたいと思い、活動に参加しました。未体験だった文化施設にも訪れることができ、ふるさとの歴史文化について深く考えるきっかけになりました。

人形浄瑠璃も初めて見たのですが、人形が床の上を自然に歩く姿や、瞬きなどの繊細な表情の表現には本当に感動しました。いろんな人の知恵や苦勞が積み重なることで、伝統文化が今に残っているんだなって。これからの未来を生きる子どもたちにその素晴らしさを伝えることができれば、あわ文化の魅力はいつか全国、そして世界へと広がっていくと思います。



地方創生は、あわ文化を知ることから始まる



あわっ子文化大使 サポーター

●城ノ内高等学校 細川 七保斗さん

高校の先輩が中学校を卒業した後も「あわっ子文化大使サポーター」として精力的に活動している姿を見て、僕も同じ道を選びました。あわ文化の魅力発見に取り組む中学生たちを支えながら、一緒に活動を楽しめればいいなと思っています。

現在は地方創生というテーマにも興味があるのですが、ふるさとの文化や歴史に興味を持つことが、その第一歩になると思うんです。地域を思う気持ちが深まれば、政治や経済への興味も出てくるはず。そういう意味でも、あわっ子文化大使サポーターとして、今まで以上に徳島と深く関わっていきたいです。

それぞれの思いを胸に、あわっ子文化大使の活動に参加する県内の中高生たち。仲間と共に行った取材ツアーや観光マップ作成などの活動体験は、感受性豊かな彼らにどのような変化をもたらしたのでしょうか。あわっ子文化大使の方々に、活動を通して得たことや今後の抱負について伺いました。

あわっ子文化大使

自分のふるさとを、もっと好きになりました

●藍住東中学校 藤本 歩花さん

もともと日本の歴史が好きで大河ドラマなどもよく見るのですが、そういえば徳島の歴史や文化について意外と知らないなって。東京で暮らす親戚からも「徳島って何があるの?」と言われたことがあり、県外の人に徳島の良さを伝えるためにも「まず自分が知ることから始めよう!」と思いました。

あわ文化マップの制作では、見る人に伝わりやすいイラストや文章の作り方をプロの方に教えていただき、大きな刺激を受けました。他の学校の仲間たちと地元の文化を教えあったり、いろんな活動を通じて共に学びあった経験も、私の宝物です。



写真には写らない、真の魅力を海外にも伝えたい



●城ノ内中等教育学校 中川 瞬さん

生まれ育った徳島が大好きで、将来は地元のために働きたいなって。その第一歩として、徳島についての知識をもっと広げたいと思ったのが活動に参加するきっかけでした。取材ツアーでは、そこにたどり着くまでの道や住民の方々の声、匂いや音など、写真には写らない周辺環境にふれることで、あわ文化への理解を深めることができました。

今後は、インターネットやデジタル技術なども活用して、ふるさとの魅力を世界中に届け、外国人観光客の方にも、日本の中で徳島を選んでもらえるように頑張りたいです。

誰かに伝えるって、難しいけど楽しい

●吉野中学校 籠谷 泰資さん

活動の中で特に印象に残っているのは、大歩危峡のPR動画に出演させていただいたことです。いろんな人に、自分の声で分かりやすく伝えることの難しさを感じることができました。その動画はYouTubeにもアップされていますが、今回の経験を活かすことで次はもっと上手に伝えられると思います。

徳島の魅力を上げるためにも、みんなが知らない徳島の文化を知っていただければ、もっと多くの人に訪れてもらえるはず。まずは身近にいる友人にこの場所で学んだことを伝え、いつの日か一緒に現地に足を運んで魅力を伝えたいです。



●あわ文化マップ  
あわっ子文化大使や高校生サポーターたちが2020年度に作成した「あわ文化マップ」。県内のデザイナーを講師に招き、イラストや文章作成のアドバイスを受けながら観光マップの作成に携わりました。自分たちが取材・体験した内容が、いきいきと表現されています。

亀井料理長 考案!  
turntable  
阿波尾鶏の味噌漬け焼き  
阿波尾鶏って? 自然に恵まれ、ゆったりとした環境の中で、80日以上かけて丹念に飼育され、地鶏の出荷羽数23年連続日本一を誇っています。肉質は、ほどよい歯ごたえ、コク・甘み・うまみが特徴です。

あわっ子文化大使になるには

- 申込み (10月初旬) 県内全ての公立中学校の生徒が受検できる「あわ文化検定」に申し込みます。同時に「あわっ子文化大使」の認定を希望します。
- 作文の提出 (1月中旬) あわ文化に関する作文(テーマは12月に発表)を学校へ提出します。
- 認定 (3月中旬) 「あわ文化検定」の結果と「あわ文化に関する作文」をもとに、県教育委員会が選考・認定します。

●グローバル・文化教育課 ☎088-621-3054 FAX088-621-2882  
●もっと詳しい情報は   [詳しくはこちら](#)

徳島県新型コロナウイルス関連相談コールセンターについて

●新型コロナワクチン専門相談コールセンター  
専門的な知識を有する看護師や保健師が対応し、接種による「副反応」や「医学的知見が必要となる専門的な相談」などを承ります。  
☎0120-808-308 24時間対応 土・日・祝日含む FAX:0120-939-412 (フリーダイヤル) メール: vaccine\_tokushima@bricks-corp.com

●受診・相談センター  
かかりつけ医がいない場合は、受診・相談センターにお電話ください。受診可能な「診療・検査協力医療機関」をご案内します。  
☎0570-200-218 24時間対応 土・日・祝日含む

●その他、県内のコロナウイルスに関する一般相談窓口  
☎0120-109-410 24時間対応 土・日・祝日含む 聴覚に障がいのある方など、電話での相談が難しい方は、FAXをご利用ください。 FAX:0120-946-199 (フリーダイヤル)

スタジアムに行こう!  
TOKUSHIMA VORTIS ホームゲーム  
ホームゲームの日程はこちら!  
IndigoSocks ホームゲーム  
ホームゲームの日程はこちら!

県庁だより  
県主催の講習会や募集などさまざまな情報をお知らせします。  
●資格・試験  
●県職員採用試験  
●県職員採用試験(職業訓練指導員)  
●県警察職員採用選考試験

●障がい者職業訓練生  
●徳島県食の安全安心審議会委員  
●戦死者慰霊巡拝参加者(遺族対象)  
●交通事故の防止について  
●南部テクノスクール受講生(8月入校生)  
●はかりの定期検査